

施策4	良質で多様な保育サービスの充実	主管部長(課)	こども未来部長(保育計画課)
		関係部長(課)	こども未来部長(保育課)

1 施策目標

江東区の目指す姿									
保育施設が適切に整備されているとともに、良質で多様な保育サービスが安定的に提供され、安心して子どもを産み、育てることができています。									
施策実現に関する指標(代表指標)									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
保育所待機児童数	人	51	14	4	0	0		0	保育計画課
指標選定理由	保育施設の整備状況、保育サービスの充実を測る指標であるため								
分析	達成度	◆5年度の待機児童数は、民間活力を活用した積極的な施設整備や、地域や年齢によって異なる保育需要に応じた既存施設の定員変更による定員増、居宅訪問型保育事業等の多様な保育サービスの継続実施により、前年度に引き続き0人となった。							
	5 (達成)								
施策コストの状況									
種別	4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
トータルコスト	43,312,164千円	36,183,846千円	42,299,698千円	44,716,330千円					
事業費	37,127,171千円	30,798,075千円	36,323,900千円	38,230,087千円					
人件費	6,184,993千円	5,385,771千円	5,975,798千円	6,486,243千円					
《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)									
◆近年、保育施設の果たす社会的な役割は共働き世帯の増加等による社会状況の変化に伴い、より一層多様化している。定員に空きのある保育所等において、未就園児を定期的に預かり、利用促進の方法等、保育所の多機能化に向けた効果を検証する「保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業」が令和5年1月6日に示された。									
◆保育所等を利用していない未就園児を定期的に預かり、こどもの健やかな成長を図るとともに、育児不安解消等、子育て支援の充実を図る「多様な他者との関わりの機会の創出事業」が令和5年3月30日に示された。									

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1	待機児童の解消
主な取組	待機児童解消に向けた地域毎の保育需要に応じた効率的な施設整備
取組内容	◆4年度は、民間活力の積極活用により認可保育所1か所を新規整備したほか、地域や年齢によって異なる保育需要に応じた既存施設の定員変更を行った結果、合計で142名の定員増を図り、前年度に引き続き待機児童ゼロを継続した。引き続き、効率的かつ効果的な定員確保策を講じて保育の受け皿を確保し、待機児童ゼロの継続に取り組んでいく。
主な実施事業	私立保育所整備事業
取組方針2	良質かつ多様な保育サービスの提供
主な取組	保育所に対する指導検査の専門性の向上及び保育人材の確保
取組内容	◆保育所に対する効率的かつ効果的な指導検査を実施するため、検査項目の一部を社会保険労務士や税理士等の専門家に委託し、検査の専門性の向上を図っていく。 ◆保育人材の確保のため、処遇の改善につながる補助をはじめ、宿舍借上補助、就職相談会及び法人採用担当者向け採用活動等支援セミナーなど、様々な支援を行っている。また、5年度より、新たに職員の定着支援に向けた取り組みを開始する。さらに、休日保育及び病児・病後児保育など、保護者の多様な就労形態、家庭環境やライフスタイル等に応じた保育サービスを提供している。
主な実施事業	保育の質の向上事業、保育従事者確保支援事業、病児・病後児保育事業、私立保育所補助事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1	待機児童の解消	主管部長(課)	こども未来部長(保育計画課)							
		関係部長(課)	こども未来部長(保育課)							
<p>地域やこどもの年齢によって異なる保育需要に応じて、公有地の活用や大規模開発との連携など、多様な整備手法を用いて認可保育所等の整備を進めます。また、区立幼稚園での3歳児保育や預かり保育、居宅訪問型保育事業をはじめとする様々な手法を用い、保育の受け皿を確保します。さらに、保育サービスの情報提供や窓口相談等を行う保育園ナビゲーターの活用により、保護者のニーズに応じた情報提供を行い、待機児童の解消を目指します。</p>										
指標										
	指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
	保育所待機児童数(再掲)	人	51	0	4	0	0		0	保育計画課
	指標選定理由	(代表指標に記載)								
分析	達成度	(代表指標に記載)								
	代表指標に記載									
取組コストの状況										
	種別	4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
	トータルコスト	1,731,965千円	769,400千円	566,371千円	26,520千円					
	事業費	1,676,985千円	721,535千円	554,564千円	16,819千円					
	人件費	54,980千円	47,865千円	11,807千円	9,701千円					
成果と課題										
<p>◆令和5年4月時点では、民間活力の積極活用により認可保育所1か所を新規整備することで、142人の認可保育定員の増を図った(既存施設の定員変更(保育定員63人増)を含む)ことにより、前年度に引き続き待機児童ゼロとなった。今後も、待機児童ゼロを継続していくため「江東区こども・子育て会議」のご意見を踏まえながら、適切な保育需要への対応を検討し、地域毎の需要に応じた効率的な整備を行う。また、居宅訪問型保育事業等の多様な保育サービスを継続実施する。</p> <p>◆地域や年齢によっては多くの空き定員が生じていることから、空きスペースを活用した一時預かりサービスの拡充を検討していく必要がある。</p> <p>◆保育園ナビゲーターによる入園申込方法の相談や保育園に関する情報提供を実施し、保護者のニーズに応じたサービスの提供を行っている。</p>										

取組方針2	良質かつ多様な保育サービスの提供	主管部長(課)	こども未来部長(保育計画課)							
		関係部長(課)	こども未来部長(保育課)							
<p>保護者が安心してこどもを預けることができるよう、都との連携の下、区内保育施設の指導検査を推進するとともに、施設改修等による保育環境の改善を行います。また、保育人材の確保のため、処遇の改善につながる補助をはじめ、宿舍借上補助、就職相談会及び法人採用担当者向け採用活動等支援セミナー等、保育事業者の意向を聞きながら様々な支援に取り組みます。さらに、休日保育及び病児・病後児保育など、保護者の多様な就労形態、家庭環境やライフスタイル等に応じた柔軟な保育サービスを提供します。</p>										
指標										
	指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
	保育所に対する指導検査実施完了割合	%	100 (30年度)	100	100	100			100	保育計画課
	指標選定理由	保育の質の維持・向上に資する活動量を示す指標であるため								
分析	達成度	◆保育所に対する指導検査は、施設数が増加傾向にある中、毎年度着実に実施している。								
	5 (達成)									
取組コストの状況										
	種別	4年度予算	4年度決算	5年度予算	6年度予算					
	トータルコスト	41,580,199千円	35,414,446千円	41,733,327千円	44,689,810千円					
	事業費	35,450,186千円	30,076,540千円	35,769,336千円	38,213,268千円					
	人件費	6,130,013千円	5,337,906千円	5,963,991千円	6,476,542千円					
成果と課題										
<p>◆区の取り組みは、順調に推移している。今後は、全ての対象施設への検査を継続しつつ、検査の専門性の向上により検査の精度の向上を図るほか、提供する保育サービスの充実を図るなどして、保育の質の向上を図っていく必要がある。</p> <p>◆AIシステムによる入所選考の実施について、3年度より本格運用を行い、4年4月及び5年4月入所について、それぞれ保育所利用調整結果発表の早期化を実現しており、今後も、例月の入所調整等の機会を活用するなど、引き続き区民の利便性向上を図っていく。</p> <p>◆保育士不足の状況が続いており、引き続き人材確保支援に努める。</p> <p>◆病児・病後児保育室については、4年度は4か所あったが、1か所閉鎖となり3か所での運営となっており、今後の拡充が課題である。</p>										

4 一次評価《主管部長による評価》

<p>総評</p>	<p>◆区の取り組みは着実に推移している。今後も待機児童ゼロを継続していくために保育需要への適切な対応を検討するとともに、保育の質の向上、保育サービスの充実に係る取り組みを継続する。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>◆「江東区長期計画」及び「江東区こども・子育て支援事業計画」に基づき、地域ごとの需要に応じた適切な施設整備を行うとともに、待機児童ゼロを継続していくための適切な保育需要への対応を検討していく。 ◆適正な運営及びサービスの質の確保をするため、検査の対象となる全ての保育施設に対して年1回の指導検査を実施するとともに、多様なニーズに対応したプログラムや指導方法の研究を行い、取り組みの成果を区内保育施設で共有していく。</p>

5 外部評価委員会による評価

<p>(令和3年度外部評価実施済施策)</p>

6 二次評価《区の最終評価》 ※3年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

<p>総評</p>	<p>◆指標については目標を達成し、施策の進捗状況は順調であると言える。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現に向け、下記について着実に取り組む必要がある。</p>
<p>実現に向けた取り組み</p>	<p>◆今後も待機児童ゼロを継続していくため、地域ごとの保育需要の分析を行い、整備の必要性を見極めながら、整備計画を検討するとともに、「保育の質の向上」に取り組んでいく。 ◆保育サービスに係る事務等の更なるDX化を進め、区民サービスの向上とともに、保育従事者の負担軽減を図る。 ◆保育の質の確保のため、指導検査を着実に実施していくとともに、保育従事者の確保や技能向上に向けた取り組みについて引き続き実施していく。</p>